

流域治水プロジェクトを進捗・深化させる 上での課題や問題点

※ 本資料は、令和5年12月に実施した取組状況調査に併せて
ご回答いただいたアンケート結果を元に作成しています。

■流域治水等に対する住民の理解促進

- 防災情報や流域治水に繋がる取り組みへの市民への周知は、自治体ごとに取り組む際の温度差が出ると考えられる。また、自治体において、周知における予算にも限界があることから、各流域において、国が中心となり、マスコミ等を活用していただく等、PRしていただきたい。
- いざという時の備えをしておくことが、災害等発生時にはいかに重要かということの意識付けを行うことが課題である。
- 流域治水プロジェクトの住民への周知。
- 水害リスクについて、地域住民への啓発が不足している。
(6月及び7月の大雨時に、避難指示が発令されているにもかかわらず、住民から避難すべきか数件問合せがあった)
- 流域治水において、上流域での対策である「砂防」や「ダム」について、十分に認識や理解がなされていない。
- 発電用専用ダムについては、流域面積に対して貯水量は小さいことから洪水時の流量調節は困難であることを流域に居住の方々へ積極的に発信する必要がある。

⇒ 報道機関を通じた水防災意識向上のための普及啓発、水害リスクの「自分事化」、神通川流域治水プロジェクトの取組展開、自治体広報誌の活用、等

■助成制度の創設

- 農耕地が多い富山県においては、用水が浸水被害に及ぼす影響が大きい。出水期の用水管理は土地改良区等を通して用水管理者に呼び掛けているところではあるが、大雨時の即時対応には限界があるため、幹線用水に係る水門の自動化の補助制度等を創設してほしい。内水被害に係ることであるが、内水はん濫は洪水に先行して起きるため、避難行動の支障になりやすく、対策が必要と思われる。
- 溢水対策として、市街地に設置された農業用の小型水門を遠隔操作化するにあたり流域治水事業で取り組める補助メニューが無い。

⇒ デジタル田園都市国家構想、ワンコイン浸水センサ実証実験の活用

■その他

- 河川流域毎の関係機関が一同に会した意見交換は、対策を講じる上で有意義と考えられるが、会議体が多いことから会議開催が精一杯となっているように感じる。作成資料を簡潔にし、流域の関係機関にとって本当に必要なものが還元されるべきと考える。
- 流域治水施策として様々な対策があるが、どこでこういった施策を実施すれば効果的かが不明である。
- 森林境界の明確化、森林整備の担い手確保。
- 気象予報技術の向上。アメダスやレーダーによる観測強化・気象衛星の整備・局地モデルの高解像度化等。

報道機関を通じた水防災意識向上のための普及啓発

○NHK富山放送局が企画・制作する「かわ知り」※を通じて、地域住民に各河川の特徴や注意点の紹介し、出水時の適切な行動を促した。

○あわせて、流域治水の推進の必要性についても紹介。

※「かわ知り」は 自分の身近な河川に氾濫の危険が迫ったとき、どうしたらいいのか、いざというときに、水害から命を守るためのポイントを伝えるため、NHK各局が企画・制作している番組。テレビ放送後も、NHK富山放送局のHPで公開中。



※上記河川の「かわ知り」は テレビ放送後もNHK富山放送局のHPで公開中

ラジオで流域治水の取組を紹介しました。(富山市(富山県)・2023年8月2日)

(富山河川国道事務所 関連)

富山シティエフエム
@ToyamaCityFM

「スマイル+」2023年8月2日は
スイスで活躍するバレエダンサー武岡昂之介さんと武岡ともさんに
fairy-bt.com

「富山の河川、道路の防災」について富山河川国道事務所から長谷川徹さん、山辺晃生さん、岩川岳史さん、水野こころさんに出演いただきました。

hrr.mlit.go.jp/toyama/



午前10:21・2023年8月3日・283 件の表示



研究者×市民×行政×…で考える「神通川流域治水プロジェクト」

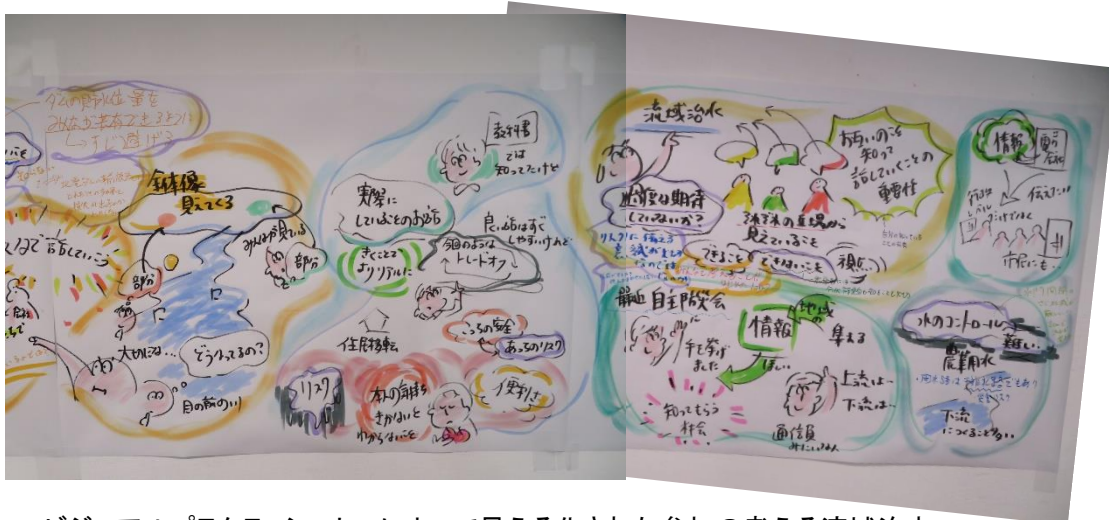
- 東京大学の沖教授が代表するSDGs社会実装研究事業の一環として始まった「神通川流域治水プロジェクト」に参画・協力。
- 神通川流域の市民のほか、科学者、行政、事業者、教育関係者、農業従事者など、様々な立場が同じ目線で膝をつきあわせて対話することによって、それぞれの考え・立場を理解し、流域治水に対する深化が図られた。
- 現在、富山県立大学が中心となって、神通川での取組を県内の他河川へ展開すべく準備を進めている。



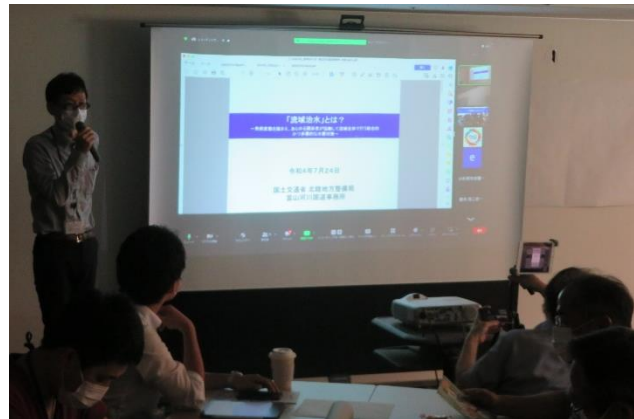
多様なステークホルダーと共創する市民参加型ワークショップの様子



市民と対話する様子



ビジュアルプラクティショナーによって見える化された参加の考える流域治水



行政から流域治水について紹介

流域治水の普及啓発の取り組み

- 富山市や富山県立大学が主催・共催する神通川の流域治水に関するシンポジウムに参加し、神通川・常願寺川を上空から撮影した動画をVRで見ていただくブースを出展。子供から大人まで、楽しみながら流域と治水について学んでいただいた。
- ワークショップでは、具体的な流域治水施策による効果や課題について、参加者が異なる立場を疑似体験(ロールプレイ)しながら議論することで流域治水に対する理解を深めた。

■流域って、何だ？くらしといのちをつなぐシンポジウム

開催日：令和5年7月22日（土）
主 催：流域プラットフォーム※ 来場者：130名以上
共 催：富山市、富山県立大学 後 援：富山県、富山河川国道事務所
協 力：東京大学、中央大学、岐阜大学、他
内 容：専門家による講演会、流域治水ジオラマ・ポスター等の展示
ブース出展（自主防災会、県防災士会、神通川を楽しむ会、等）



富山河川国道事務所出展ブース（VR体験）の様子



会場の様子



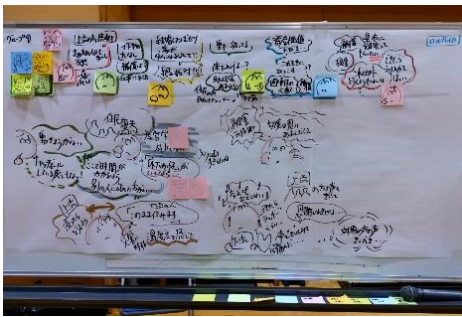
専門家による講演会

■さまざまな立場から見える流域治水を模擬体験する

開催日：令和5年12月9日（土）
参加者：約60名（市民、学生、研究者、市議会議員、行政）
内 容：第1部 富山県立富山北部高校生による「流域治水」等をテーマにした学習成果の発表
第2部 流域治水疑似体験ワークショップ
主 催：流域プラットフォーム※
※SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム「流域治水に資する動的運用ルールの共創手法の構築と展開」（研究代表者：東京大学 沖教授）の一環としての取組



設定した流域治水施策に基づき、実際に浸水をする地域の住民や、浸水する地域を意図的に作ることで助かる地域の住民などになりきり議論



- <主な意見>
- ・実際に流域治水という考え方がリアルに感じられた
 - ・難しかったけれど、真剣に考えることができた
 - ・流域治水の主体は誰だろうともう一度考えたくなった
 - ・意外とみんな協力的なのかもしれない

市内プロジェクトの整備状況



暫定堤防や無堤地区となっている場所に堤防を整備する計画です。引き続き地域のご意見をしっかりと聞きながら整備を進めています。

■下境工区【国】

位置：下境区付近
工期：令和2年12月に完成



■常盤地区【国】

位置：今井区(川)付近
状況：調査検討、地元調整等



■北町工区(血川堤防)【県】

詳細は4ページをご覧ください



■静閑地区【国】

位置：静閑地区付近
状況：調査検討、地元調整等



■昭和馬場工区【県】

位置：市川橋付近
工期：令和6年度完成予定
状況：千曲川本川の堤防整備がほぼ完成し、現在支川の護岸工事を実施中



上下流バランスや氾濫域のリスク等を総合的に勘案しつつ、千曲川本川の水位低下を目指し、対策を実施していきます。

■戸狩狹窄部【国】

位置：港滝橋上流
工期：令和3年2月～(実施中)
状況：港滝橋上流でバックホウ台船を利用した河道掘削を実施



洪水時の水位を低下させるため、遊水地を計画しています。調査検討を続け、地域のご意見をしっかりと聞きながら整備を進めています。

■運遊水地【国】

位置：蓮地区(計画検討中)
状況：調査検討、地元調整等



Interview

飯山市は、国や県が進める「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」の事業について、地元との調整を図るなど事業推進に取り組んでいます。また、公共施設への雨水貯留タンク設置による流出抑制の必要性の市民啓発、ため池活用による流出抑制、地域防災力を高めるマイタイムラインの普及、メール配信や防災無線によるきめ細かな情報の発信、内水排除用の排水ポンプ整備などの取り組みを進めています。

Interview

長野県では、「昭和馬場工区」「北町工区」を「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」に位置付け、事業を進めています。いずれも、令和6年度の事業完了を目指しています(北町工区一部を除く)。なお、「下境工区」は同プロジェクトとして、令和2年に既に事業が完了しています。引き続き、皆さまの安心安全の確保に向け鋭意事業を進めてまいります。



長野県

北信建設事務所
整備課長
吉川 英昭 さん



地域を水害から守る

信濃川水系 緊急治水対策プロジェクトの進捗

令和元年東日本台風災害から3年。流域内の国・県・市町村の関係者が連携し、防災・減災対策を推進するため、令和2年1月に「信濃川水系 緊急治水対策プロジェクト」計画をまとめ、現在工事等を順次進めています。今回は、このプロジェクトと市内の河川整備の状況について、クローズアップします。



プロジェクトについての詳細は国土交通省のホームページをご覧ください。
QRコードはこちら



清水 高博 さん
Shimizu Takahiro



市内で行われている3つの整備



洪水時の氾濫を防ぐため、堤防整備を行います



洪水時の水位を低下させるため、河道を掘って水が流れる面積を広げます



洪水時に一時的に水を貯めて下流に流れる水の量を減らします

今後、地域の皆さまのご意見を踏まえ、各事業を進めてまいります。事業が着実に実施できるよう、ご理解と協力をお願いします。

整備「堤防整備」「静閑、常盤地区」を進めています。狹窄部河道掘削については、上下流バランス等に配慮しながら、今年度も継続して工事を実施する予定です。遊水地整備については、事業への理解を回れるよう、地元の方々と調整を進めています。堤防整備については、調査検討、地元調整を進めています。

市報 いいやま

No.760



自治体広報紙に掲載されました。(南砺市(富山県)・2022年9月号)

(利賀ダム工事事務所関連)

(仮称)南砺市特定地域づくり事業協同組合 組合員(発起人)の募集説明会を開催しました！

市では、南砺で暮らしたい人が適切な生業に就ける体制づくりや、基幹産業の担い手不足の解消を目的に、特定地域づくり事業協同組合の設立を目指しています。

広報なんと7月号で説明会参加者を募集したところ41法人、52人の方にご参加いただきました。多くのご参加ありがとうございました。

8月上旬には、組合員(発起人)候補者を募り、13事業者にて発起人会設立検討協議会を開催しました。

今後は、9月に発起人会の設立、11月に事業協同組合の設立、12月に特定地域づくり事業協同組合の認定を目指します。



問い合わせ 南砺で暮らしません課 協働のまちづくり係 ☎2037

市内の小学校3校で、人権の花運動伝達式を行いました！

人権の花運動とは、おもに小学生を対象とした人権啓発活動で、日本では昭和57年から実施されています。市では、人権尊重の社会を目指し、鉢植えの「ペゴニア」を子どもたちに育ててもらふことで、「いのちの大切さ」を学び、「友達への思いやり」の心を育ててもらふことを目的に実施しています。

砺波地区3市(砺波市、小矢部市、南砺市)による持ち回りで実施しており、今年は福光東部小学校、福光南部小学校、城端小学校の4～6年生にペゴニアを手渡しました。受け取られた児童の皆さん一人ひとりが、夏休み終了後に行う人権の花修了式まで、大切に育てていただきたいと思います。



問い合わせ 南砺で暮らしません課 協働のまちづくり係 ☎2037

利賀ダム転流工トンネル着工式を開催しました

利賀ダム工事事務所では、庄川流域における水害リスクを軽減するため、利賀ダム建設事業を進めています。5月28日(土)に“利賀ダム転流工トンネル着工式”を開催し、総貫利賀ダム建設促進期成同盟会会長や新田富山県知事をはじめ、約60人が工事の安全を祈念しました。

利賀川の流れを切り替える転流工事業は、本体工事着手に向けての大事な節目となります。

令和13年度のダム完成に向け、地域の皆様と協力し着実に事業を進めています。

事業の詳細は、QRコードからご覧になれます。



問い合わせ 国土交通省北陸地方整備局 利賀ダム工事事務所 総務課
電話 0763-33-4701

広報 **なんと** vol. 214 令和4年 2022 9 月号

ボクなんアオハル祭in青春学園を開催します！ 2

南砺市いなみ国際木彫りキャンプ2023 3

南砺市新型コロナウイルスワクチン接種についてのお知らせ 4

人と動物が共に生きる社会を目指して 5



祝・南砺平高校日本一!!

全国高等学校総合文化祭東京大会で、南砺平高校郷土芸能部が最優秀賞・文部科学大臣賞に輝きました。



自治体広報紙に掲載されました。(立山町(富山県)・2023年2月号)

(富山河川国道事務所 関連)

工事を実施しています

皆さまのご理解とご協力をお願いします



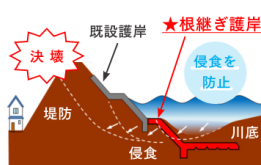
1 常願寺川における急流河川対策工事

国土交通省富山河川国道事務所
☎ 076-443-4715

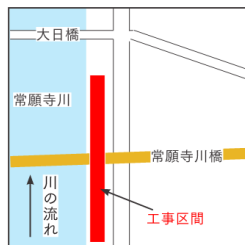
日本有数の急流河川である常願寺川は、洪水時の流れが速く、流水の強大なエネルギーによって、河岸や川底が侵食されます。既存の護岸があっても、川底の侵食により、堤防の決壊に至る恐れがあります。これを防止するため、既設護岸に新たな護岸を継ぎ足す工事(根継ぎ護岸★)等を行っています。



▲工事状況(令和4年5月)



▲根継ぎ護岸イメージ図



▲工事区間位置図

2 富立大橋 4車線化工事

富山県富山土木センター立山土木事務所
☎ 076-463-6154

常願寺川にかかる富立大橋(ふりゅうおおはし 橋長 509m)について、渋滞緩和を目的に、2車線から4車線に拡げる工事を令和6年春の開通を目指して進めています。工事の進捗状況や事業の詳しい内容を、富山県立山土木事務所のHPやYouTubeで紹介しています。



HPはこちら▶



公式 YouTube
動画はこちら▶



▲工事状況(令和5年1月19日時点)

まちで活躍する人々

町は、令和4年から、新たに「地域プロジェクトマネージャー」として、島 雅啓さんを任命しました。同マネージャーは、地域・行政・民間が連携して取り組む事業の橋渡しやマネジメントの役割を担っています。

島さんは、長年、首都圏等で旅行会社に勤務し、地域特性に合わせた旅行イベントの企画運営に携わった経験があるほか、町においては、平成24年から地域おこし協力隊員や、グリーンパーク吉峰などを運営する株式会社たてやまの社長を務めました。

町では、近年、平野部でも魅力的な観光施設が増えてきています。島さんは、平坦地観光を進めるための全体管理の役割を担い、観光客の誘客促進に活躍されています。

Pickup!

地域プロジェクトマネージャー



島 雅啓さん

▽経歴

- 2003.1 近畿日本ツーリスト イベントコンベンション事業部長就任
- 2009.1 トップツアー(株) 執行役員 東京支社長 就任
- 2012.4 立山町地域おこし協力隊 就任
- 2015.4 (株)たてやま 代表取締役社長就任
- 2022.6 地域プロジェクトマネージャー就任

広報

立山

あなたに届けるまちの魅力

2

No. 830
February 2023



● PICKUP

- P. 2 給付金や補助金の申請を受け付けています
- P. 4 二十歳のつどい 開催
- P. 6 税の申告相談会

● COVER

二十歳を迎え 晴れやかに

流域内事務所連携広報活動の実施について

富山河川国道事務所での展示状況



- 【内容】
- ・1階 広報スペースで展示。
 - ・デジタルサイネージを利用し、各事務所の取組や事業概要等を一定間隔で掲示している。

神通川水系砂防事務所での展示状況



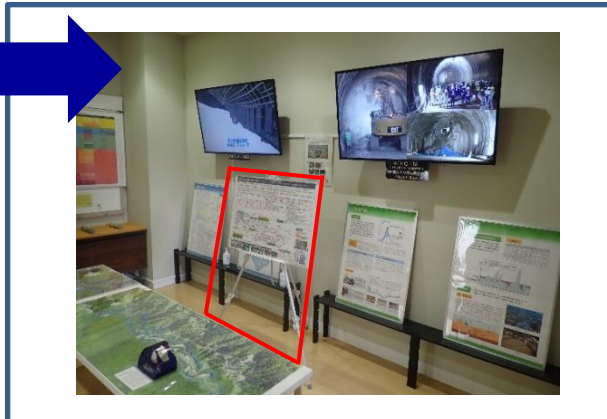
- 【内容】
- ・1階 広報スペースで展示。
 - ・神通砂防の令和5年度活動報告等と併せ、神通川水系流域治水プロジェクトの実施状況をパネルにて掲示している。



- 【内容】
- ・9階 展望台のスペースを活用し展示。
 - ・子供から大人まで、一般住民への周知を目的に常願寺川水系での歴史等をパネルにて掲示。



- 【内容】
- ・1階 広報スペースで展示。
 - ・砂防施設の紹介と併せ、常願寺川水系流域治水プロジェクトの実施状況をパネルにて掲示。



- 【内容】
- ・利賀ダムDXルームにて展示。
 - ・利賀ダム諸元情報と併せ、庄川水系流域治水プロジェクトの実施状況をパネルにて掲示。

富山地区広域圏クリーンセンターでの展示状況

立山砂防事務所での展示状況

利賀ダム工事事務所での展示状況